

5. 研究交流

ESRI政策フォーラムの企画立案・開催

重要な政策課題を取り扱い、政策形成に資するとともに、広範な議論を喚起

参加無料 ZOOM開催 申込受付中

ESRI 政策フォーラム

内閣府 Cabinet Office

「インフレ・ターゲティング 10年を振り返って」

政府・日本銀行共同声明（2013年1月）により2%の物価安定目標が設定され、インフレ・ターゲティングが導入されてから来年1月で10年を迎えます。

今回のフォーラムでは、この10年間の物価、経済情勢を振り返り、デフレ脱却に向けてインフレ・ターゲティングが果たしてきた役割について評価するとともに、今後の課題について議論を行いたいと考えています。

主なプログラム

1. 冒頭説明
林 伴子 内閣府経済社会総合研究所次長
2. パネルディスカッション (パネリスト)
□伊藤 隆敏 コロンビア大学国際・公共政策大学院教授
□河野能太郎 BNPパリバ証券経済調査本部長・チーフエコノミスト
□渡辺 努 東京大学大学院経済学研究科教授 (五十音順)

令和4年
12月5日(月)
12時00分～13時30分

開催言語 日本語
開催形式 ZOOMウェビナー
申込方法 下記サイト経由

※参加無料・学生歓迎です！
参加資格は問いません。

主催 EAS 内閣府 経済社会総合研究所
Economic and Social Research Institute

参加無料 ZOOM開催 申込受付中

ESRI 政策フォーラム

内閣府 Cabinet Office

★世界で活躍する内閣府エコノミストが語る★ 「新春景気懇談会 : 今年の世界経済」

令和5年
1月30日(月) 14時00分～16時00分
【登壇者一覧】

<p><モデレーター></p>  <p>林 伴子 内閣府 経済社会総合研究所次長</p> <p>1987年経済学専攻修士課程修了。英・LSE大学院留学。OECD代表部、海外経済分析担当参事官、経済対策・金融担当参事官、経済財政分析担当参事官、OECD経済政策委員会委員等を経て現職。</p>	<p><米国経済></p>  <p>佐藤 達太 在米日本大使館 参事官</p> <p>1986年経済学専攻修士課程修了。米・ニューヨーク大学大学院留学。海外経済分析担当参事官、大臣秘書官、人事課長等を経て現職。</p>	<p><欧州経済></p>  <p>篠崎 節明 OECD日本政府 代表部参事官</p> <p>1989年経済学専攻修士課程修了。米・ボストン大学大学院留学。国際経済担当参事官、経済政策担当参事官、OECD日本政府代表部参事官等を経て現職。</p>	<p><アジア経済></p>  <p>鈴木 達介 OECD事務局 シニア エコノミスト</p> <p>1994年経済学専攻修士課程修了。英・ケンブリッジ大学大学院留学。SNA企画調査課長、OECD代表部経済担当参事官等を経て現職。</p>
<p><コメンテーター></p>  <p>中澤 信吾 内閣府 経済社会総合研究所総括 政策研究官</p> <p>1984年経済学専攻修士課程修了。米・コロムビア大学大学院留学。経済財政分析担当参事官、OECD代表部、大臣秘書官、在米日本大使館参事官等を経て現職。計量分析担当参事官。</p>	<p><海外経済全般></p>  <p>石橋 英宣 内閣府 海外経済分析 担当参事官</p> <p>1989年経済学専攻修士課程修了。米・ボストン大学大学院留学。OECD代表部、計量分析担当参事官、大臣秘書官、SNA国際課課長、内閣官庁「日」担当参事官等を経て現職。</p>	<p><中国経済></p>  <p>花垣 貴司 内閣府 海外経済分析担当 参事官補佐(アジア課長)</p> <p>2007年内閣府入府。英・ウォリック大学大学院留学。経済見直し担当、在米日本大使館(経済部)一等書記官等を経て現職。</p>	<p><国際情勢></p>  <p>上野 由加里 内閣府 国際経済担当 参事官補佐</p> <p>2015年内閣府入府。米・ニューヨーク州立大学アルバニ校大学院留学。経済財政分析担当参事官等を経て現職。</p>

◆日本語、ZOOMウェビナーでの開催です。
下記サイト経由でお申し込み下さい。

※参加無料・学生歓迎です！
参加資格は問いません。

主催 EAS 内閣府 経済社会総合研究所
Economic and Social Research Institute

森まさこ総理補佐官主催

「女性と経済」に関する勉強会

・ESRI政策フォーラム共催

★ハーバード大学・プリンントン教授緊急講演★

シリーズ: 「静かなる有事」少子化と男女共同参画④
「人口減少をもたらす『規範』を打ち破れるか」

近著「縛られる日本人～人口減少をもたらす『規範』を打ち破れるか」において、日本の少子化の要因について問題提起された、ハーバード大学(ライシャワー日本研究所所長)のメアリー・プリンントン教授をお招きして、我が国の少子化対策・女性活躍の課題を議論します。

令和5年
3月9日(木) 13時30分～15時00分

<基調講演>

 <p>メアリー・プリンントン ハーバード大学 ライシャワー日本研究所 所長、同研究所社会学教授</p>	 <p>森まさこ 内閣総理大臣補佐官 (女性活躍担当) 参議院議員</p>
 <p>山崎 史郎 内閣官房参与、全世代型 社会保障構築本部事務局 総括事務局長</p>	 <p>林 伴子 内閣府経済社会総合研究所 次長、「女性と経済」に 関する勉強会座長</p>

◆日本語(一部逐次通訳あり)、ZOOMウェビナーでの開催です。
下記サイト経由でお申し込み下さい。

※参加無料・学生歓迎です！
参加資格は問いません。

事務局 EAS 内閣府 経済社会総合研究所
Economic and Social Research Institute

ESRI政策フォーラムの開催実績

令和4年9月以降、様々なテーマで、月に1回程度開催



← これまでの
← 開催概要は
← こちら

ESRI政策フォーラム開催実績（令和4年9月以降）

		開催テーマ	
		経済財政関係	シリーズ：「静かなる有事」少子化と男女共同参画
2022年	9月	9/26 第60回「景気を把握する新しい指標」 (登壇者) 嶋中雄二、岩下真理、元山齊、福田慎一、増島稔*	
	10月		10/4 第61回 シリーズ第1回「人生100年時代の若者の恋と結婚」 (登壇者) 森まさこ総理補佐官、山田昌弘、山口慎太郎、永田夏来、櫻井彩乃、林伴子*
	11月	11/25 第63回「人への投資拡大に向けた分析-令和4年度経済財政白書」 (登壇者) 大湾秀雄、児玉直美、原ひろみ、松多秀一、林伴子*	11/2 第62回 シリーズ第2回「多様な家族への子育て支援の在り方」 (登壇者) 山崎史郎内閣官房参与、大石亜希子、永瀬伸子、吉住啓作*、林伴子*
	12月	12/5 第64回「インフレ・ターゲティング10年を振り返って」 (登壇者) 伊藤隆敏、河野能太郎、渡辺努、林伴子*	
2023年	1月	1/30 第65回「世界で活躍する内閣府エコノミストが語る 「新春景気懇談会：今年の世界経済」」 (登壇者) 佐藤鐘太*、篠崎敏明*、鈴木孝介*、中澤信吾*、石橋英直*、花垣貴司*、上野由加里*、林伴子*	
	2月	2/9 一橋大学政策フォーラム・政策フォーラム（共催） 「コロナ危機に直面する私たちのウェルビーイング」 (登壇者) 大月康弘、小塩隆士、亀坂安紀子、松下美帆*、中澤信吾*、増島稔*	2/17 第66回 シリーズ第3回「地方の女性活躍が日本を変える！少子化を止める！」 (登壇者) 森まさこ総理補佐官、鮎澤良史*、石山純恵、上田篤、田代達生、畠山貴晃*、山脇絵里子、林伴子*
	3月		3/9 第67回 シリーズ第4回「人口減少をもたらす『規範』を打ち破れるか」 (登壇者) 森まさこ総理補佐官、メアリー・C・プリントン、山崎史郎内閣官房参与、林伴子*
	4月	4/14 第68回「賃金と物価の好循環を目指して」 (登壇者) 川口大司、仲田泰祐、山田久、林伴子*	4/26 第69回 シリーズ第5回「次元の異なる少子化対策への挑戦」 (登壇者) 小倉将信内閣府特命担当大臣（少子化対策、男女共同参画）、天野馨南子、柴田悠、徳倉康之、中村明恵*、林伴子*
	5月		

備考： 1. 「登壇者」はパネリストおよびコーディネーター、敬称略。
2. 下線*は内閣府職員（他省庁等に出向中の職員を含む）。

ESRI国際コンファレンスの企画立案・開催

世界的にも有名な経済学者を招いた国際コンファレンスを開催

ESRI国際コンファレンス2022 「ポストコロナの経済社会」

12月14日 国際ラウンドテーブル / 12月15日 国際シンポジウム

内閣府経済社会総合研究所(ESRI)では、国内外のエコノミストの参加を得て、「ポストコロナの経済社会」をテーマに、2日間にわたり「国際シンポジウム」及び「国際ラウンドテーブル」を開催します。

開催方式 オンライン配信 (Zoomでのウェビナー方式) 使用言語 英語(日本語同時通訳あり)

申込方法 一般申し込み(オンライン視聴のみ) 参加登録フォーム>>>
申込み締切日 12/7(水) 18:00



URL: <https://omc.co.jp/ESRI2022/index.html>

上記URLまたは右記の二次元コードより登録後、検索URLをお送り致します。

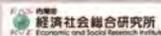
1日目 国際ラウンドテーブル 12月14日(水) 14:00~18:00(日本時間)

ポストコロナに向けて全世界的に変貌を遂げる経済社会を展望し、課題となる政策の方向性を探るため、「政府への信頼と情報提供」「雇用ショックへの対応」「パンデミックによる国際経済への影響」の3つのテーマで幅広く議論を交わします。

プログラム

- 議長(共同議長)** Alan Auerbach カリフォルニア大学バークレー校 教授 / Anil Kashyap シカゴ大学 教授 / 星岳雄 東京大学 教授
- 14:00 - 14:05 開会挨拶 増島稔 内閣府経済社会総合研究所 所長
- 14:05 - 15:05 セッション1 政府への信頼と情報提供
議長: 星岳雄 東京大学 教授
冒頭発言: Andrew Atkeson カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 教授 / Luigi Zingales シカゴ大学 教授 / 中條美和 津田塾大学 准教授 / 仲田泰祐 東京大学 准教授 / 林伴子 内閣府経済社会総合研究所 次長 / 渡辺勇 東京大学 教授
- 15:05 - 15:20 休憩
- 15:20 - 16:20 セッション2 雇用ショックへの対応
議長: Alan Auerbach カリフォルニア大学バークレー校 教授
冒頭発言: Janice Eberly ノースウェスタン大学 教授 / Edward Glaeser ハーバード大学 教授 / Betsy Stevenson ミシガン大学 教授 / Chad Syverson シカゴ大学 教授 / 大久保敏弘 慶應義塾大学 教授 / 滝澤美帆 学習院大学 教授
- 16:20 - 16:35 休憩
- 16:35 - 17:35 セッション3 パンデミックによる国際経済への影響
議長: Anil Kashyap シカゴ大学 教授
冒頭発言: Maurice Obstfeld カリフォルニア大学バークレー校 教授 / Hélène Rey ロンドン大学 教授 / David Weinstein コロンビア大学 教授 / 伊藤隆敏 コロンビア大学 教授 / 小枝淳子 早稲田大学 教授
- 17:35 - 17:55 まとめ
共同議長: Alan Auerbach カリフォルニア大学バークレー校 教授 / Anil Kashyap シカゴ大学 教授 / 星岳雄 東京大学 教授
- 17:55 - 18:00 閉会挨拶 増島稔 内閣府経済社会総合研究所 所長

※時間や内容は変更となる可能性があります。最新の情報は内閣府経済社会総合研究所のHPをご確認ください。
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/esri/workshop/menu.html>



ESRI国際コンファレンス2022 「ポストコロナの経済社会」

2日目 国際コンファレンス 12月15日(木) 9:30~18:10(日本時間)

「在宅勤務」「金融システムにおけるリスク」「パンデミック後の財政政策」「生産性」の4つのテーマで、学術的な議論を交わします。

プログラム

- 9:30 - 9:40 開会・主催者挨拶 増島稔 内閣府経済社会総合研究所 所長
大臣挨拶 後藤茂之 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
- 9:40 - 10:30 基調講演
米国経済、経済政策について
発表者: Jared Bernstein 米大統領経済諮問委員会(CEA) 委員
- 10:30 - 10:45 休憩
- 10:45 - 11:50 セッション1 在宅勤務
発表者: Edward Glaeser ハーバード大学 教授
討論者: 大久保敏弘 慶應義塾大学 教授
- 11:50 - 13:00 休憩
- 13:00 - 14:05 セッション2 金融システムにおけるリスク
発表者: Hélène Rey ロンドン大学 教授
討論者: 伊藤隆敏 コロンビア大学 教授
- 14:05 - 14:20 休憩
- 14:20 - 15:25 セッション3 パンデミック後の財政政策
発表者: 小枝淳子 早稲田大学 教授
討論者: Alan Auerbach カリフォルニア大学バークレー校 教授
- 15:25 - 15:40 休憩
- 15:40 - 16:45 セッション4 生産性
発表者: 滝澤美帆 学習院大学 教授
討論者: Chad Syverson シカゴ大学 教授
- 16:45 - 17:00 休憩
- 17:00 - 18:05 パネルディスカッション
議長: Alan Auerbach カリフォルニア大学バークレー校 教授
討論者: Andrew Atkeson カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 教授 / Anil Kashyap シカゴ大学 教授 / 仲田泰祐 東京大学 准教授 / 星岳雄 東京大学 教授
- 18:05 - 18:10 閉会挨拶 増島稔 内閣府経済社会総合研究所 所長

※時間や内容は変更となる可能性があります。最新の情報は内閣府経済社会総合研究所のHPをご確認ください。
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/esri/workshop/menu.html>

問合せ先

ESRI国際コンファレンス2022事務局
(内閣府経済社会総合研究所による委託先:株式会社オーエムシー)
メールアドレス: ESRI-secretariat@omc.co.jp 電話番号: 03-5362-0117(平日9時~17時) / 担当: 朱雀、伊藤

個人情報取り扱いについて
申込フォームでご登録いただいた情報は、内閣府経済社会総合研究所および今回の運営事業者である株式会社オーエムシーが、Zoomウェビナーへの接続案内、アンケート等、国際コンファレンスおよび国際ラウンドテーブル運営のため利用させていただきます。事務高では、情報収集に際しては、収集した情報を適切に管理し、漏えい・滅失又は毀損のないよう、必要な措置を講じます。

